

主な事務事業の調整結果その5

(学校教育・保育、生涯学習・スポーツ振興、国内・国際交流、その他)

学校教育・保育

小・中学校給食費の単価を統一

区分	小学校	中学校
給食単価	242円 (222円)	288円 (237円)

()内は米飯持参方式の給食単価です。

教育相談事業は市教育センターを拠点に新市域で実施

掛川市教育センターを窓口、不登校やいじめの相談に応じるとともに、適応指導教室（みどり学級）を開設します。

また、中学校のスクールカウンセラー等の教育相談も引き続き実施していく予定です。

保育園保育料は3年間、現大東町の額に統一

平成20年、21年の2年間で国の徴収基準月額を参考に検討し、適正な保育料を段階的に調整します。

各月初日の入所児童の属する世帯の階層区分		新市 (平成19年度まで)			
階層	定義	3才未満児	3才児	4才以上児	
1	生活保護法における被保護世帯 (単給世帯を含む)	0	0	0	
2	第1階層及び第4～第7階層を除き前年度分の市町村民税の額が右の区分に該当する世帯	市町村民税非課税世帯	2,000	1,500	1,500
3		市町村民税課税世帯	9,000	7,000	7,000
4	第1階層を除き前年分の所得税課税世帯であって、その所得税額の区分が右の区分に該当する世帯	64,000円未満	17,000	14,500	14,000
5		64,000円以上 160,000円未満	27,000	22,000	19,500
6		160,000円以上 408,000円未満	32,000	23,500	21,500
7		408,000円以上	37,000	23,500	21,500

幼稚園保育料は現大東町・大須賀町の額に統一

幼稚園保育料は月額6,000円に統一されます。

生涯学習・スポーツ振興

受講できる生涯学習講座の種類やエリアが広がる

掛川地区、大東地区、大須賀地区を会場に、それぞれに特色のある講座が開かれます。どの地区の講座にも参加することができます。

図書館をネットワーク化し充実

現掛川市立中央図書館と現大須賀中央図書館のシステムを一元化して、1枚のカードで双方の利用ができるようになります。

また、大東地区には新たに図書館の整備を予定しており、3つの図書館を情報ネットワークで結ぶことで、提供できる情報が大きく広がります。

※ 住民基本台帳カードには、図書カードの機能を組み込むことができます。(住民基本台帳カード作成はお近くの住民窓口、図書カード機能の追加は図書館にご相談ください。)

移動図書館の範囲を拡大

図書に親しみやすくするために、小学校などを拠点に自動車を利用した移動図書館を新市域で実施します。

大会の規模を大きく

市全体の大会として、以下のようなものを予定しています。

- ・掛川市駅伝競走大会
- ・スポーツフェスティバル
- ・婦人バレーボール大会

国内・国際交流

国内姉妹都市等との交流を継続

従来行っていた交流事業を引き続き実施していきます。

ただし、相手先の事情により、事業内容等が変更される場合があります。

- ・岩手県胆沢町
- ・岐阜県恵那市（旧岩村町・・・平成16年10月25日合併）

国際交流事業を継続

在住外国人の生活支援

- ・日本人と外国人とが共生する環境の整備（日本語教室の開催等）を実施します。

中高大学生オレゴン農場研修事業

- ・国際理解を深めた人材を養成するため、研修として派遣します。

郷土の偉人顕彰事業

- ・日中友好の懸け橋として活躍した郷土の偉人「松本亀次郎」を顕彰するため、友好使節団を中国に派遣します。

その他

国際姉妹都市との交流を継続

提携先	アメリカ合衆国オレゴン州ユージン市
	アメリカ合衆国ニューヨーク州コーニング市

地域公共施設間情報ネットワークの拡充

生涯学習やまちづくりの推進のため、地域情報化の基盤として、学校、図書館、市民活動施設などの公共施設を結ぶ情報ネットワークを拡充し、通信速度の向上を図ります。

地域の市民活動や学校活動など、良質な情報の受発信が可能になるとともに、IT講習の拠点として情報弱者の解消に取り組みます。

電算システムの統合について

電算システムは基本的には掛川市のシステムをベースにして統合が進められています。現在はシステム開発をほぼ終了し、4月1日からの業務が円滑に行われるように移行テストが行われています。

また、合併後は、事務処理の効率化と住民サービスの向上を図るために、住民窓口、国保、年金、税などの各種手続きを総合的に扱える総合窓口システムの整備を進めることを予定しています。